

# 授 業 概 要

(社会福祉科)

授業科目名 就労支援サービス		授業の種類 ( <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 )	
授業担当者 名地 宙	実務経験	・病院・介護老人保健施設・デイサービス等において、ソーシャルワーカーとして勤務。 ・若者サポート支援センターにて、相談員として勤務。	
授業の回数 16回	時間数(単位数) 32時間(1単位)	配当学年・時期 2年・後期	( <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択 )
[授業の目的・ねらい] ・働くことの意味や就労支援の目的を理解できる ・就業率や就業構造の変化などを視点に、労働環境の現状を理解できる ・労働基準法をはじめとする労働関連法規について理解できる ・生活保護受給者だけでなく、生活困窮者を対象とした支援の現状について理解できる ・障害のある方を対象とした就労支援の現状について理解できる [授業全体の内容の概要] ・授業は、テキストをメインに教員が作成した資料を補助として使用する ・国内の就労状況や生活保護受給件数に関しては、国の資料等を検索し把握する。労働関連法制に関しては、福祉六法を使用し、条文の確認を行う ・生活保護受給者に対する就労支援に関しては、DVDを補助教材として使用し視聴することにより理解を深める ・地域の就労移行支援事業所・就労継続支援事業所A型・B型にはどのようなものがあるか、社会資源調査を行う [授業終了時の達成課題(到達目標)] ・労働の意味およびキャリア発達について説明できる ・現代の労働を取り巻く状況が説明できる ・労働基準法や関連労働法規について説明できる ・生活保護受給者、生活困窮者を対象とした就労支援制度について説明できる ・障害者の方を対象とした就労支援制度について説明できる			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15回までの場合はセル結合)			
1. 働くこととは・キャリア発達と就労支援 2. キャリア発達と就労支援・労働市場の動向について 3. 労働法規の基礎と労働三法について 4. その他の労働法規について 5. 生活保護制度における就労支援制度について① 6. 生活保護制度における就労支援制度について② 7. 生活保護制度における就労支援制度に関するDVDの視聴	8. 母子世帯等を対象とした施策 9. 障害者雇用施策の概要について 10. 就労支援サービスの実施体制について① 11. 就労支援サービスの実施体制について② 12. 就労支援に係る専門職の役割と実際 13. 就労支援まとめプリントを使用しての復習 14. 就労支援まとめプリントを使用しての復習 15. 振り返り 16. 期末考査		

[使用テキスト・参考文献]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桐原宏行著 『就労支援サービス』 株式会社 弘文堂 2017年3月発行 価格：2,400円＋税 ISBN978-4-335-61182-7</li> </ul>
[単位認定の方法及び基準]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</li> <li>1. 考查点(85%) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考查により算出する。</li> </ul> </li> <li>2. 平常点(15%) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業への参加状況では、居眠りをしているか授業に積極的に参加しているかについて評価する (10%)</li> <li>・ 提出課題がある場合において、期日までに提出されているかを重点に評価する (5%)</li> </ul> </li> </ul>

# 授 業 概 要

(社会福祉科)

授業科目名 福祉サービスの組織と経営		授業の種類 ( <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 )	
授業担当者 名地 宙	実務経験	・病院・介護老人保健施設・デイサービス等において、ソーシャルワーカーとして勤務。 ・若者サポート支援センターにて、相談員として勤務。	
授業の回数 31回	時間数(単位数) 62時間(2単位)	配当学年・時期 2年・後期	( <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択 )
[授業の目的・ねらい] ・福祉サービスにかかわる組織や団体の概要と役割を把握する ・集団の力学やリーダーシップを中心とした福祉サービスの組織と経営の基礎理論を理解する ・福祉サービスの運営管理の方法をサービス管理・人事労務管理と育成・財務管理・情報管理から総合的に理解する。 [授業全体の内容の概要] ・授業は、テキストをメインに教員が作成した資料を補助として使用する ・社会福祉法関連法制に関しては、福祉六法を使用し、条文の確認を行う ・自分の居住地の社会福祉法人・NPO法人・医療法人にはどのようなものがあるか、社会資源調査を行う [授業終了時の達成課題(到達目標)] ・社会福祉法人やNPO法人等経営の現状と課題を説明できる(法律含む) ・集団やリーダーシップのあり方を述べる事ができる ・リスクマネジメントや人事育成・労務管理と経営との関連性を説明できる			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15回までの場合はセル結合)			
1. 福祉サービスと法人について 2. 法人の理解 3. コンプライアンス・ガバナンス・社会福祉法人について① 4. 社会福祉法人について② 5. 社会福祉法人について③ 6. 社会福祉法人について④ 7. 社会福祉法人について⑤ 8. 特定非営利活動法人について① 9. 特定非営利活動法人について② 10. その他の組織について① 11. その他の組織について② 12. その他の組織について③ 13. 福祉サービスの組織と経営基礎理論① 14. 福祉サービスの組織と経営基礎理論②		16. 組織について 17. 管理運営の基礎理論、個人・集団・組織 18. 集団の力学に関する基礎理論 19. 集団の負の側面、リーダーシップに関する基礎理論① 20. リーダーシップに関する基礎理論② 21. サービスマネジメントについて 22. 4つのPと3つのP 23. 福祉サービス第三者評価事業について 24. 苦情対応とリスクマネジメント① 25. 苦情対応とリスクマネジメント② 26. 人事労務管理について① 27. 人事労務管理について② 28. 人事労務管理について③ 29. 労働法規について	

15. 経営戦略論の系譜について	30. 財務管理・会計管理について 31. 期末考査
[使用テキスト・参考文献]	武井敏他著 『福祉サービスの組織と経営』 中央法規 2017年2月発行 価格 2,200円 ISBN978-4-8058-5431-0
[単位認定の方法及び基準]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</li> <li>1. 考査点(85%) <ul style="list-style-type: none"> <li>・到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考査により算出する。</li> </ul> </li> <li>2. 平常点(15%) <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加状況では、居眠りをしているか授業に積極的に参加しているかについて評価する (10%)</li> <li>・提出課題がある場合において、期日までに提出されているかを重点に評価する (5%)</li> </ul> </li> </ul>

# 授 業 概 要

(社会福祉科)

授業科目名 保健医療サービス論		授業の種類 ( <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 )	
授業担当者 高橋 洋美		実務経験 高齢者施設にて生活相談員 3 年、歯科衛生士 3 年	
授業の回数 16 回	時間数 (単位数) 32 時間 (1 単位)	配当学年・時期 2 年・後期	( <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択 )
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談援助活動において必要な医療保険制度や保健医療サービスについて理解する。</li> <li>・ 保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解する。</li> <li>・ 国家試験の問題に慣れる。</li> </ul> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、基礎的な内容を把握できるよう確認試験を解答させる</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国試において、当該科目の基礎的な問題が解ける。</li> </ul>			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15 回までの場合はセル)			
コマ数	テーマ		
1	1. 医療保険制度 1) 医療保険制度の概要 I		
2	1. 医療保険制度 1) 医療保険制度の概要 II		
3	1. 医療保険制度 1) 医療保険制度の概要 III		
4	1. 医療保険制度 1) 医療保険制度の概要 IV		
5	1. 医療保険制度 2) 医療費に関する政策動向 I		
6	2. 診療報酬 1) 診療報酬制度の概要		
7	3. 保健医療サービスの概要 1) 医療施設の概要 I		
8	3. 保健医療サービスの概要 1) 医療施設の概要 II		
9	3. 保健医療サービスの概要 1) 医療施設の概要 III		
10	3. 保健医療サービスの概要 1) 医療施設の概要 IV		
11	3. 保健医療サービスの概要 2) 保健医療対策の概要		
12	3. 保健医療サービスの概要 2) 保健医療対策の概要 (続き)		
13	4. 保健医療サービスにおける専門職の役割と実際 I		
14	4. 保健医療サービスにおける専門職の役割と実際 II		
15	プレテスト		
16	期末試験		
[使用テキスト・参考文献]	保健医療サービス 弘文堂		
[単位認定の方法及び基準]	<p>・ 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <p>1. 考查点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した配布プリント (授業補助プリント及び確認テスト) を編集した期末考查により算出する。</p> <p>2. 平常点(15%) ・ 授業態度を点数化したもの (5%)。 ・ 確認試験が、到達目標の 6 割以上に達している点を評価する (10%)。</p>		